



## 第3回 (仮称)遠軽豊里 IC 周辺施設基本計画検討協議会 議事概要

### 1.開会

### 2.オブザーバー紹介

- ・今回から、北海道開発局網走開発建設部、北海道オホーツク総合振興局網走建設管理部遠軽出張所に参加いただいている。

### 3.話題

#### (1)報告

##### 1) 前回協議会とワークショップの結果

(事務局説明) ※前回協議会の概要は省略

- ・7/29に開催したワークショップでは、位置づけ(オホーツクの玄関口、2~3時間滞在、ホッとする演出)、立地特性(景観・眺望、スキー場に隣接)、地域振興(オリジナル商品、食、体験・アクティビティなど)、管理・運営などについて意見があった。

##### 2) 道の駅アイデア募集コンテストについて

(青年会議所説明)

- ・遠軽町内の小学生・中学生・高校生を対象に道の駅のアイデアを募集している。

#### (2)議題

(事務局説明)

##### ◎ 道の駅及び周辺施設のコンセプト案について

- ・整備の考え方を3つの視点で検討している。
- ・コンセプト：ゲレンデと遠軽とオホーツクの魅力を発信する道の駅
- ・考え方1：スキー場併設ならではの様々な体験や、オホーツクの恵みを活かした賑わいづくり。
- ・考え方2：食や文化を守り・育て・続ける、地域を再発見できる空間づくり。
- ・考え方3：旅に楽しさと安全を提供し、災害時も安心して滞在できる情報・交通・防災の拠点づくり。

##### ◎ 道の駅本体に導入する施設・機能について

- ・ゲレンデと駐車場に3~4.5mの高低差ができる。
- ・道の駅はまちに向かって見通せ、スキーセンターハウスはスキー場に向かって見通せる。
- ・道の駅の参考事例(ニセコビュープラザ、トワ・ヴェールⅡ、だて歴史の杜、つるぬま)について説明。

(座長)

- ・これまでは意見や要望を出し合う「足し算」の議論であったが、これからは現地の制約条件なども考慮した中でより深めた、特徴付けをしていく、優先順位を付けていくような議論としたい。



(意見交換)

### 全体的な検討項目

- スキー場のロッジは必須の機能である。スキー場と併用して運用する工夫などについて案はあるのか。この場では、施設（建物）の中の配置、それともゲレンデの夏利用を含めた敷地全体の議論をすべきなのかわからない。
  - 本会は、この事業のコンセプト、方向性をまとめていく程度の意見収集の場としており、具体的・詳細な事案については以降、開催を予定している「考える会（仮）」にて検討したいと考えている。

### ゲレンデ・旧ゴルフ場

- 旧ゴルフ場の活用については、遊び場の他、駐車場も考えられる。
- 夏のリフトの稼働は可能なのか。
  - 不可能、ではない。

### 食物販、その他屋内施設

- 遠軽はやっぱり、野菜の直売が「ウリ」になると思う。
  - レストランも必要。
  - 街中の食堂の邪魔にならない程度だと、良いと思う。
  - それでは中途半端なものになってしまう。遠軽ならではの物を出していきたい。
- 敷地制約条件の話でも、当該箇所まで客を引き込む「吸引力」が必要である、との話が合ったが、例えばナショナルブランドを誘致し、そのブランド力を活かす、という考えもあるのでは。
- 「オホーツクの玄関口」として、オール・オホーツクのイメージを全面的に打ち出すことが必要。例えばオホーツク管内を旅行して買い忘れた土産物を購入できるとか。
  - 新千歳空港のイメージですかね。

### 情報発信

- 「オール・オホーツク」としての情報提供する場という位置付けが重要である。道の駅ではオホーツクの全部に触れられ、オホーツク全体の情報を得て、目的地に移動する。

### その他屋内施設、駐車場等

- 紋別の道立オホーツク流水公園では無料で子どもが室内で自由に遊べる施設があり、遠軽にもほしい。
- 「道の駅しらたき」を担当している経験から、冬季の除雪が大変なので縁石は無くても良いと思っている。またトイレの床面は掃除がしやすいような素材としてもらいたい。
- ニセコの道の駅は、駐車場がコンパクトで良い。広すぎると雨の時に嫌な思いをする。駐車場からすぐ近くにトイレに続く回廊となっており、そのまま屋根付きで中央のショップまで回遊できる動線となっており、駐車場まで戻ってくることができることが良い。
- 資料には防災の視点も挙げられているが、この点については議論以前に必須事項として備えられなければならないものと思う。



- EV 車が充電できず、高規格道路をノロノロ運転して渋滞したと聞いた。例えばこの道の駅で充電施設を 10 基でも設置し充実させ、ここで充電してオホーツク管内のドライブ観光に行ってくれ！といった機能を持たせれば、必要な利用者は必ず来る。

#### 事業規模、事業特性について

- 本日は代理できているため確認したいのだが、この事業における対象の属性や目的は何なのか。
  - それを確認していく場がこの場である。これからみなさんの議論を経て定めていくものと思われる。
- やはり地元の人たちが来ない道の駅は栄えていない、という例もある。その視点も重要である。
- 事業費の目安はあるのか。予算の上限抜きには考えられないだろうと思う。
  - 事業費のほとんどは建物如何で決まってくるものと思われる。建築面積として、500m<sup>2</sup> 程度では手狭と感じられると思うし、他の事例では 1,000m<sup>2</sup> 程度が多いとも説明があったので、その程度となると考えられる。
  - 予算としては 13 億円程度で考えている。
- そもそもこの事業（施設）は、儲けようとしているのか。儲ける前提であれば、マーケット調査なりをしっかりとやって分析するとか、していかなければならないのでは無いか？
  - 儲けなくても良いとまでは言えないが、公的施設・空間でもあり利益を追求していく性格のものでも無い、という考えもある。
  - 趣旨は理解しているが、しかし、失敗を前提としてはいけないと思う。
  - 確かに、ここにいるみなさん全てがマーケットリサーチのプロでは無く、かなり本質的な質問である。課題は課題として洗い出し、次の段階でこの点に焦点を絞った議論が必要である。

#### 運営および今後のスケジュールについて

- この施設は、誰が運営するのか。運営主体が決まらなると話も進まないのでは無いか。
  - それを確認していくのも、この場である。これから定めていければと思っている。
- 普通は、誰が運営している例が多いのか。運営主体を決めるのは極めて重要だ。第三セクターがダメなのはハッキリしている。
  - スキー場は今のところ町営。道の駅はどうなのか。
  - 例えばニセコは地元の観光協会であるが直売所は組合を組織している。黒松内は地元の振興公社、伊達も地元の観光協会、浦臼は商工会が携わっているようである。
- 今後のスケジュールは、どうなっているのか。
  - 本会の予定としては 10 月を目処に終会し、引き続き『考える会（案）』へと移行できたらと考えている。あと 2 回くらいの予定である。
  - コンセプトについては概ね異論は無いと理解しているが、具体的な提案事項について示していく段階まで来ているので、次回はその点について考えていくことにしたい。

## 4.閉会